



～真美ヶ丘第一小学校区～

陵町コミュニティカルテ



平成30年7月

真美ヶ丘第一小学校区

1. 区域

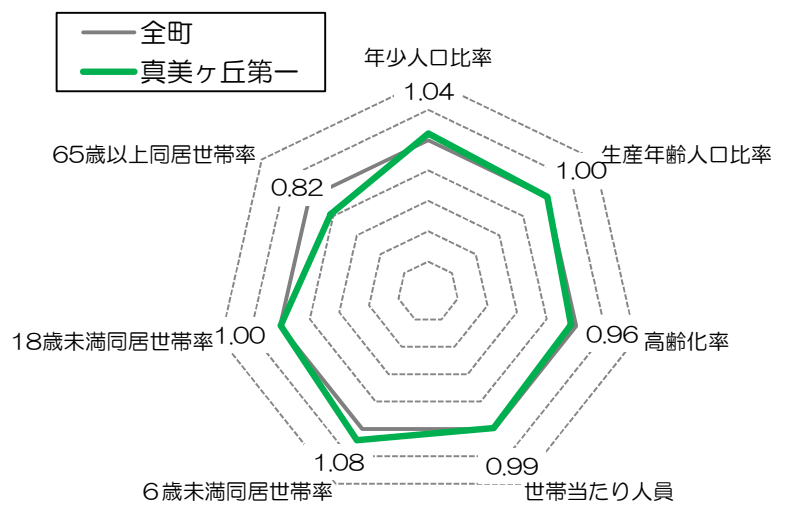
学校名	通学区域
真美ヶ丘第一小学校	馬見南1丁目から6丁目・みささぎ台

2. 主要統計指標（基準日：平成 29 年 12 月末日 ※同居世帯数（世帯率）は平成 25 年 9 月）

■真美ヶ丘第一小学校区

項目	真美ヶ丘第一	順位	全町
総人口	6,537 人	3	35,002 人
面積	0.8 km ²	5	16.3 km ²
人口密度	81.7 人/ha	1	21.5 人/ha
年少人口（0～14 歳）	1,022 人	3	5,247 人
生産年齢人口（15～64 歳）	3,981 人	3	21,232 人
老年人口（65 歳以上）	1,534 人	4	8,523 人
年少人口比率	15.6%	2	15.0%
生産年齢人口比率	60.9%	2	60.7%
高齢化率	23.5%	4	24.4%
世帯数	2,429 世帯	3	12,914 世帯
世帯当たり人員	2.69 人	2	2.71 人
6 歳未満同居世帯数 （世帯率）	297 世帯 (12.8%)	3 2	1,419 世帯 (11.8%)
18 歳未満同居世帯数 （世帯率）	556 世帯 (23.9%)	3 2	2,887 世帯 (23.9%)
65 歳以上同居世帯数 （世帯率）	796 世帯 (34.2%)	5 4	5,009 世帯 (41.5%)

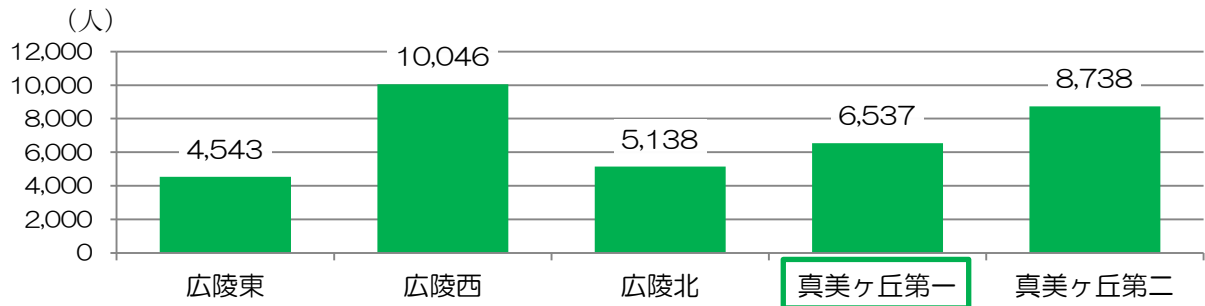
■真美ヶ丘第一小学校区の水準（全町=1とした指数）



- 面積は最少であるが、人口密度が最も高い。
- 65 歳以上の人口、65 歳以上同居世帯が少ない。
- 年少人口比率及び生産年齢人口比率、6 歳未満及び 18 歳未満同居世帯率が二番目に高い。

3. 人口など

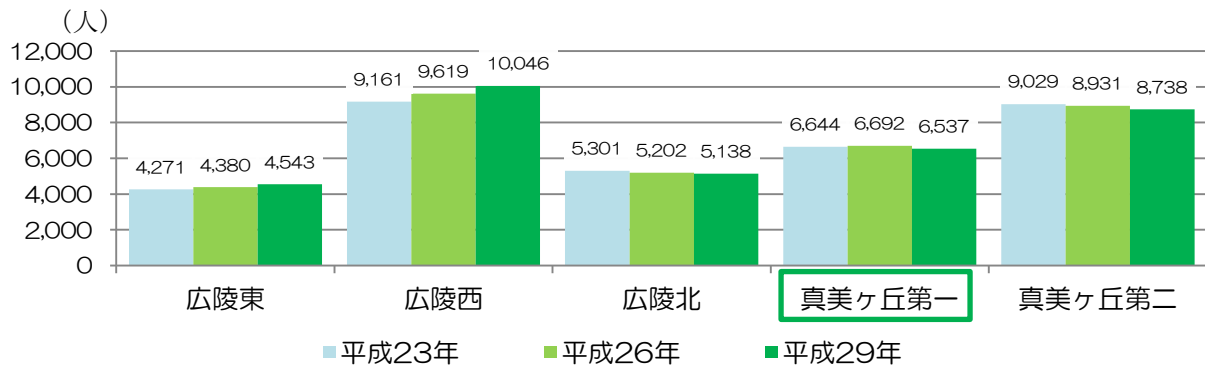
■総人口



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

真美ヶ丘第一小学校区の人口は 6,537 人で、全小学校区中 3 番目となっている。

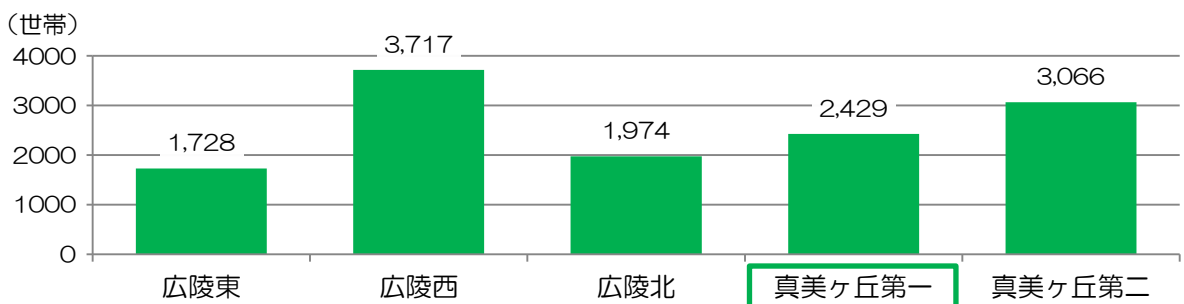
■総人口の推移



資料：住民基本台帳（平成 23 年、平成 26 年、平成 29 年、各年 12 月末）

真美ヶ丘第一小学校区の人口は、平成 23 年から比較して 107 人の減少(1.6 ポイントの下降)となっている。

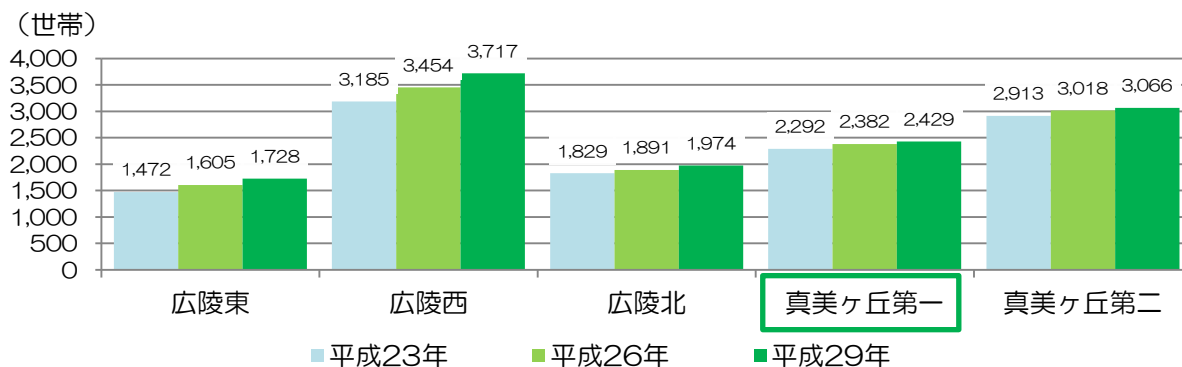
■総世帯数



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

真美ヶ丘第一小学校区の総世帯数は 2,429 世帯で、全小学校区中 3 番目となっている。

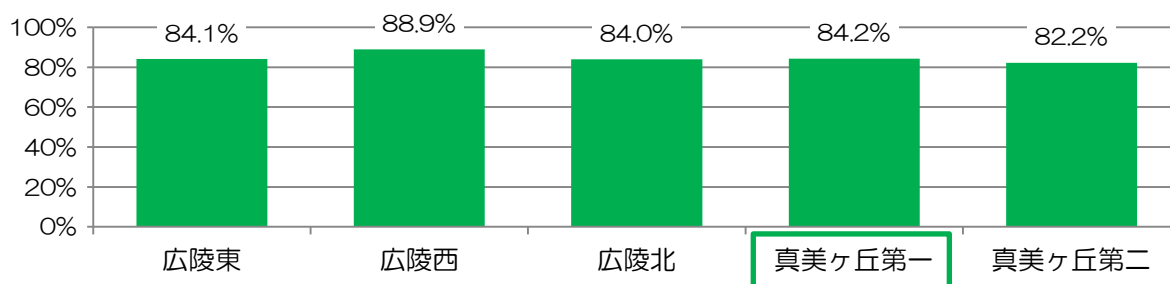
■総世帯数の推移



資料：住民基本台帳（平成23年、平成26年、平成29年、各年12月末）

真美ヶ丘第一小学校区の総世帯数は、平成23年から比較して137世帯の増加（6ポイントの上昇）となっている。

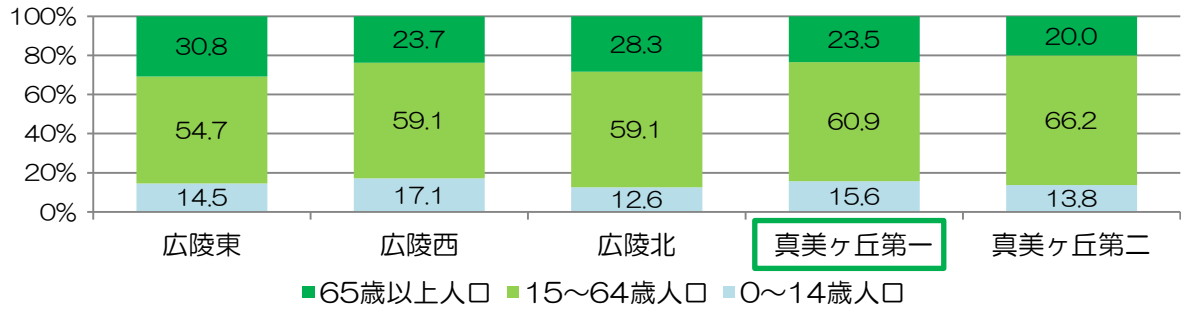
■自治会加入世帯割合



資料：区長・自治会長アンケート調査票（平成29年10月）

真美ヶ丘第一小学校区の自治会加入世帯割合は、84.2%で全小学校区中2番目となっている。

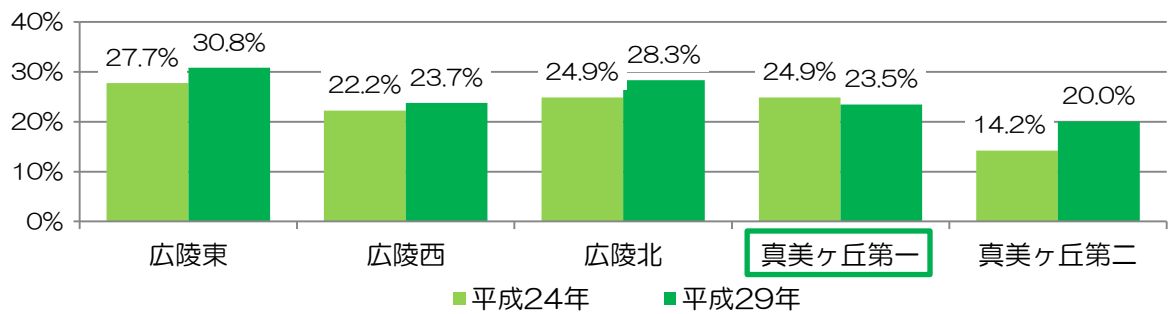
■年齢3区分人口構成比



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

真美ヶ丘第一小学校区の年齢3区分人口構成比は0～14歳人口が15.6%、15～64歳人口が60.9%で、それぞれ全小学校区中2番目、65歳以上人口は23.5%で、全小学校区中4番目となっている。

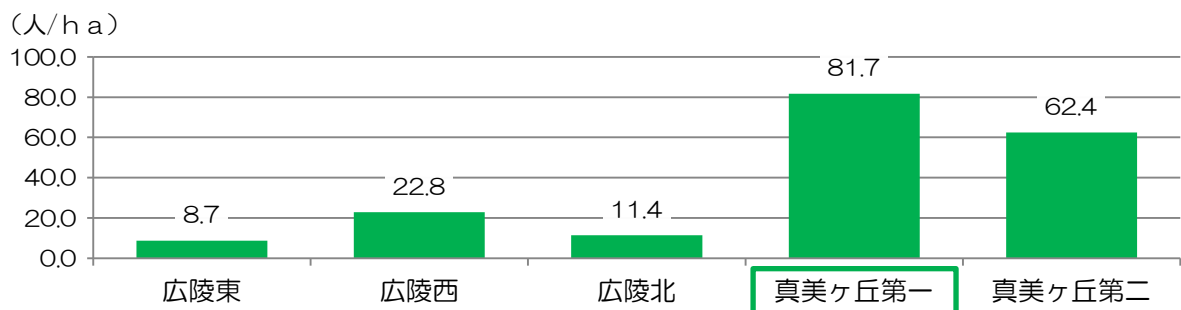
■高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（平成 24 年、平成 29 年、各年 12 月末）

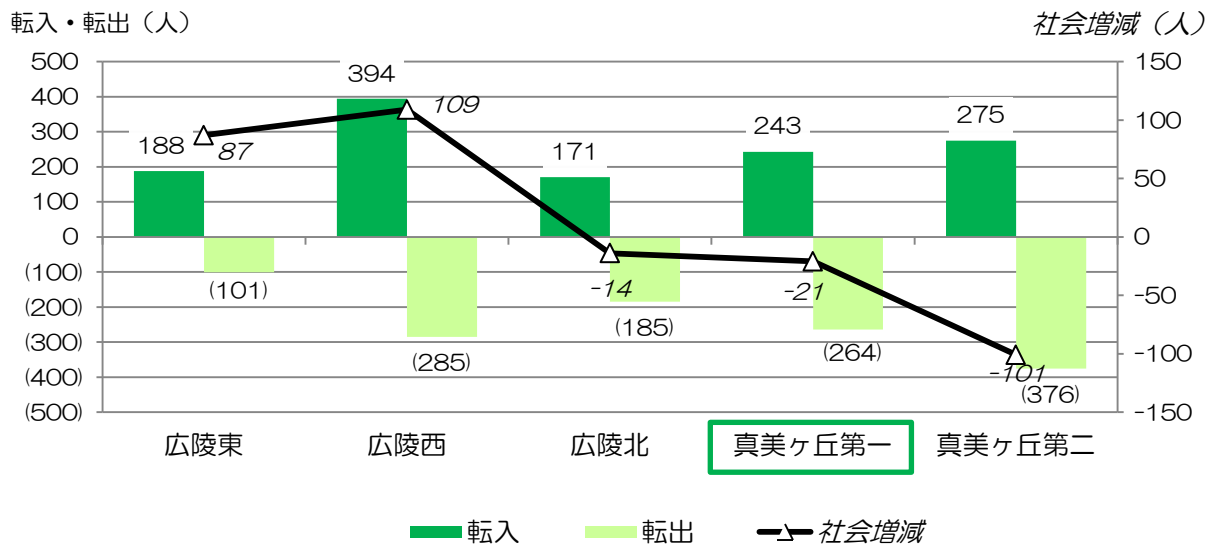
真美ヶ丘第一小学校区の高齢化率は、平成24年から比較して1.4ポイントの下降となっている。

■人口密度



真美ヶ丘第一小学校区の人口密度は、全小学校区中最も高くなっている。

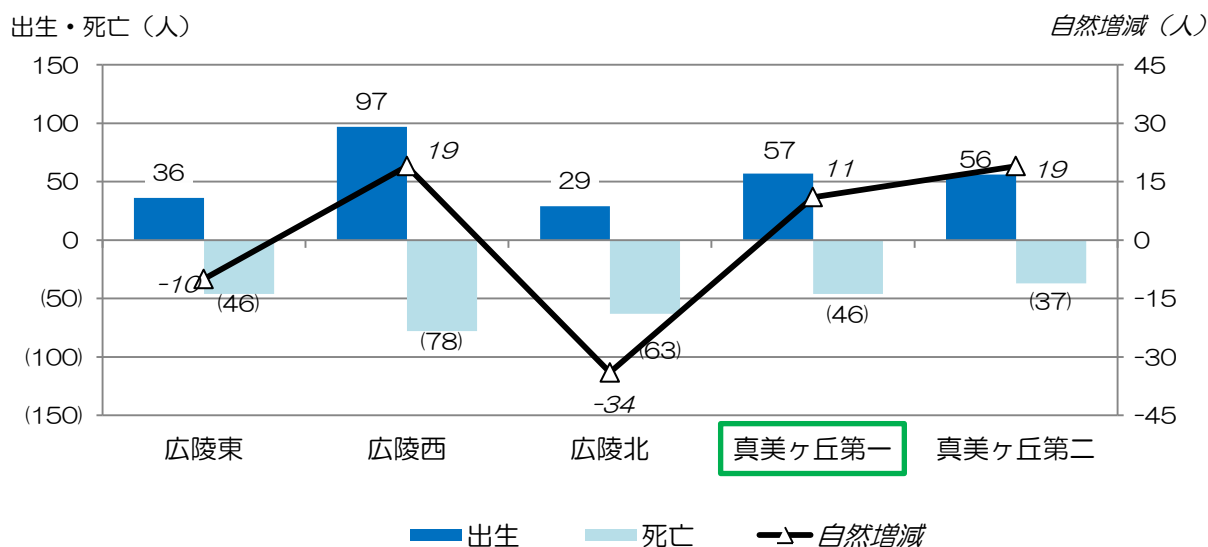
社会動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

真美ヶ丘第一小学校区の社会増減は、転入が 243 人、転出が 264 人となっており、21 人の社会減となっている。社会増減数は全小学校区中 4 番目となっている。

自然動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

真美ヶ丘第一小学校区の自然増減は、出生が 57 人、死亡が 46 人となっており、11 人の自然増となっている。自然増減数は全小学校区中 3 番目となっている。

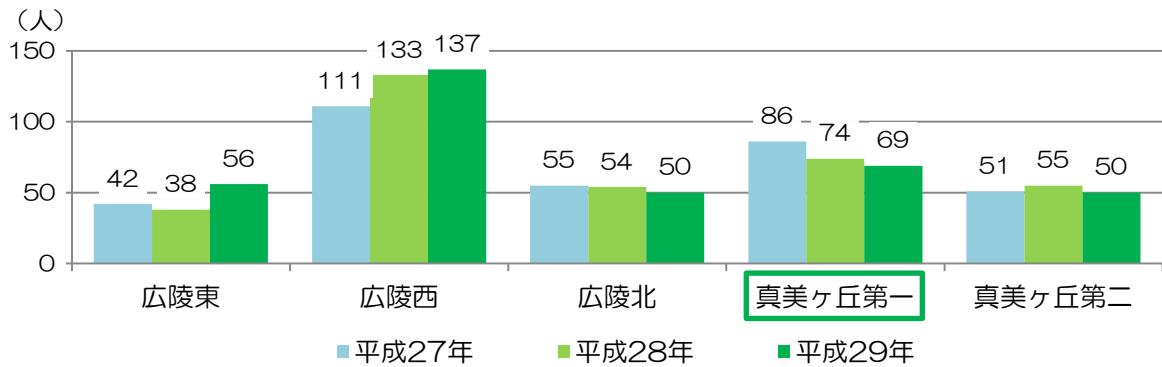
4. 保育・教育

■保育・教育機関等

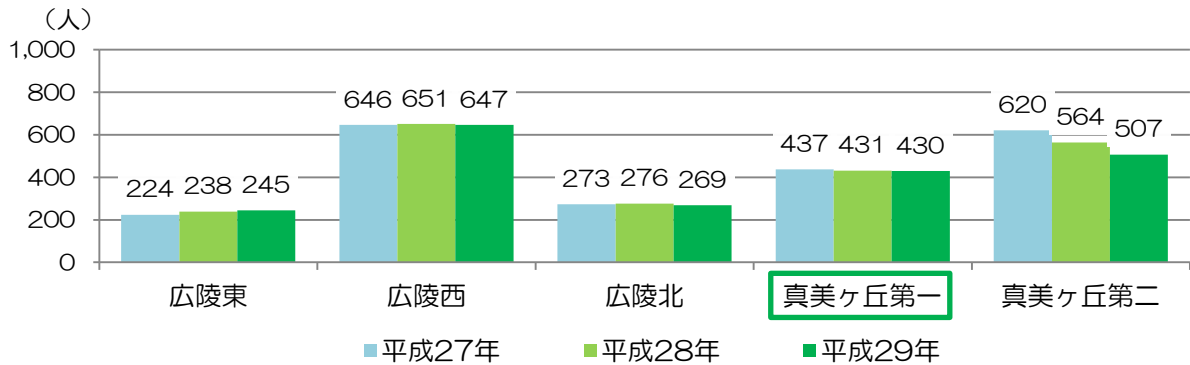
種類	名称	所在地
保育園	広陵西保育園	馬見南 3-9-8
幼稚園	真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園	馬見南 2-1-30
小学校	真美ヶ丘第一小学校	馬見南 2-1-30
中学校	真美ヶ丘中学校	馬見中 2-17-32
放課後子ども育成教室	ひまわりクラブ（真美ヶ丘第一小学校内）	馬見南 2-1-30

※真美ヶ丘中学校区の所在は、真美ヶ丘第二小学校区である。

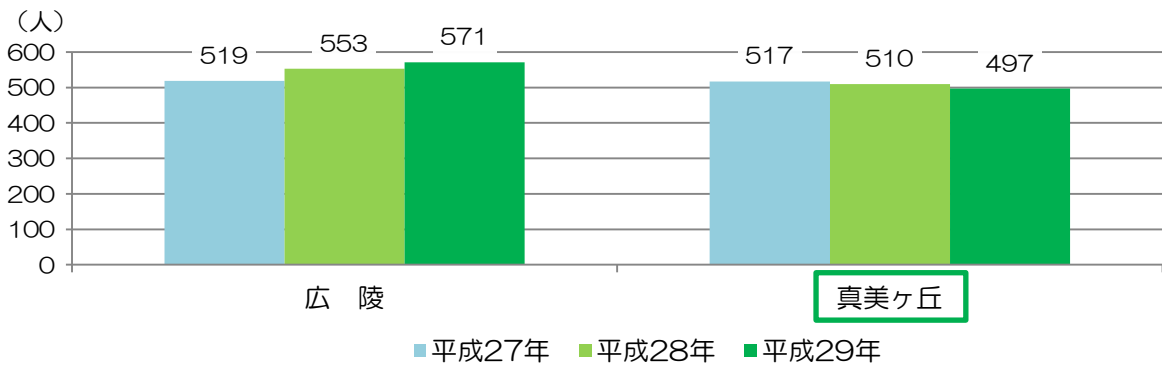
■幼稚園園児数の推移



■小学校児童数の推移



■中学校生徒数の推移



資料：学校基本調査（各年5月1日）

5. 文化

■指定文化財

指定	区分	種別	名称	所有者	所在地
広陵町	記念物	史跡	安部山古墳群	広陵町	馬見南 2丁目

6. 公園・緑地

■公園等（指定緊急避難場所）

名称	所在地	水害	震災	火災
西谷公園	馬見南2丁目地内	○	○	○
8号児童公園	馬見南1丁目地内	○	○	○
9号児童公園	馬見南3丁目地内	○	○	○
みささぎ公園	みささぎ台22番地内	○		○
黒石公園	みささぎ台33番地内	○		○
馬見南緑地	馬見南1丁目地内	○	○	○
新山緑地	みささぎ台8番地内	○		○
みささぎ緑地	みささぎ台地内	○		
9号～13号緑地	馬見南3丁目地内	○		

7. 防災

■指定避難所

名称	所在地	水害	震災	火災	耐震
真美ヶ丘第一小学校	馬見南 2-1-30	○	○	○	○
広陵西体育館	馬見南 3-9-15	○	○	○	○

8. スポーツ

■体育施設

名称	所在地
西谷公園テニスコート	馬見南 2-13
広陵西体育館	馬見南 3-9-15

9. 医療

■医療機関・歯科医院

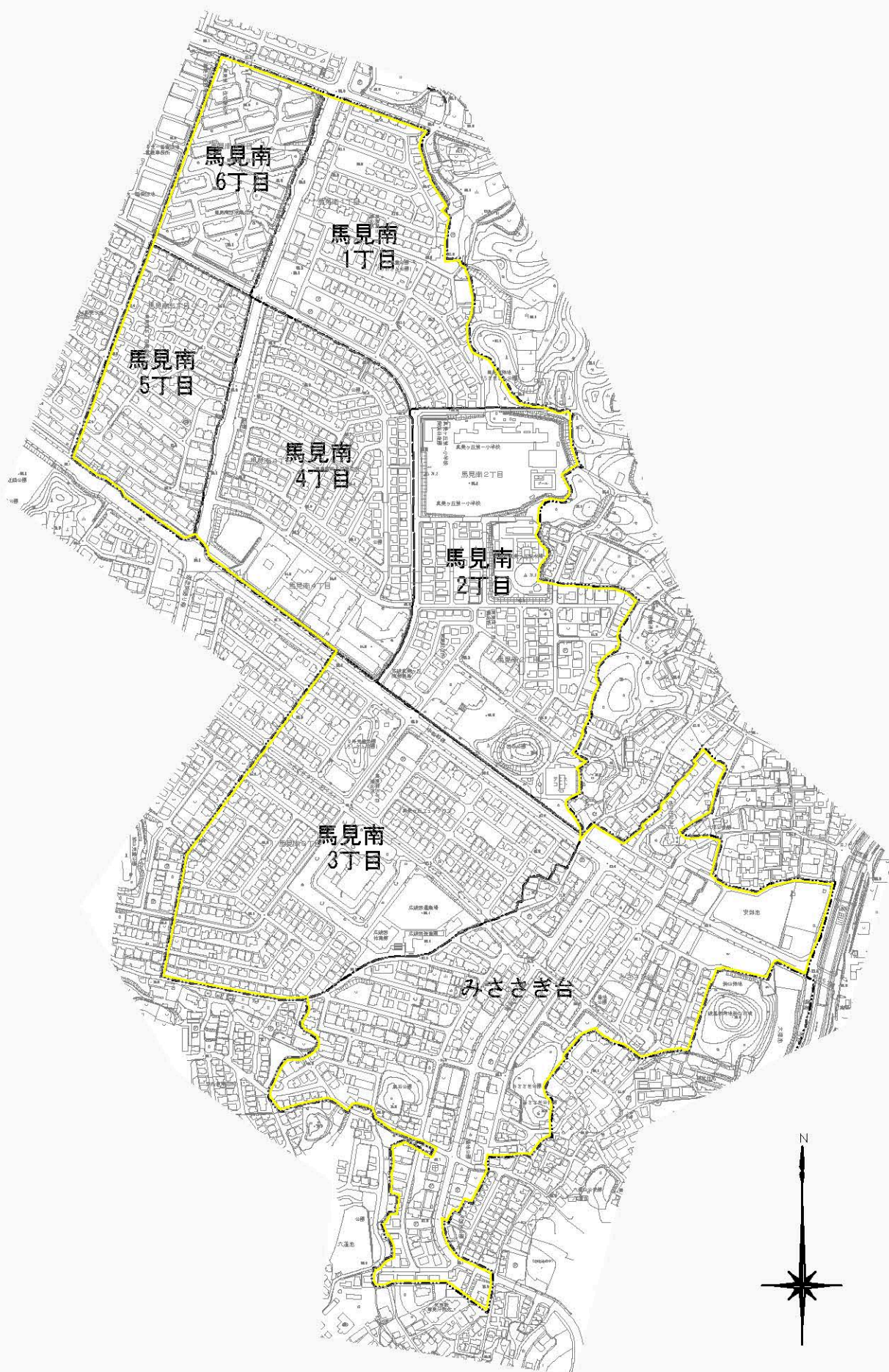
区分	名称	所在地
医療	塚本整形外科醫院	みささぎ台 24-2
歯科	土居歯科	みささぎ台 37-10
歯科	バンビ歯科・矯正	馬見南 1-6-26

10. 介護・福祉

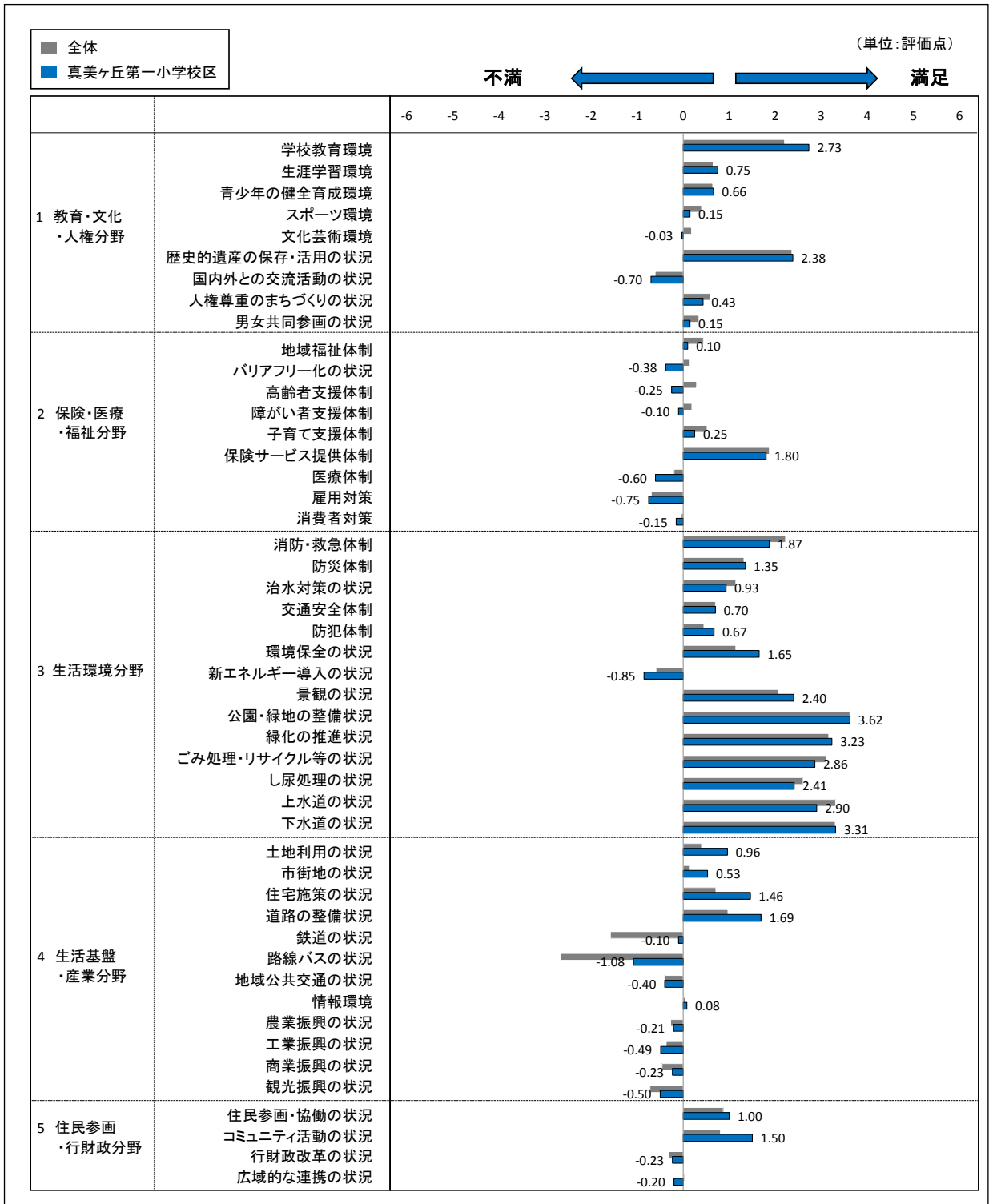
■事業所一覧

区分	名称	所在地
居宅介護支援 (ケアマネ)	在宅介護センター奈良	馬見南 3-16-16
	エリシオン真美ヶ丘	馬見南 4-1-19
	居宅介護支援事業所大地	みささぎ台 7-13 谷口鍼灸接骨院内
訪問介護 (ヘルパー)	いっしょに	みささぎ台 8-17 パークヒルズ小原 202 号
通所系サービス (デイサービス)	エリシオン真美ヶ丘	馬見南 4-1-19
	エリシオン真美ヶ丘アネックス	馬見南 4-1-18
短期入所系サービス (ショートステイ)	エリシオン真美ヶ丘	馬見南 4-1-19
訪問入浴	在宅介護センター奈良	馬見南 3-16-16
入所系施設 (有料老人ホーム)	エリシオン真美ヶ丘	馬見南 4-1-19
	エリシオン真美ヶ丘アネックス	馬見南 4-1-18

真美ヶ丘第一小学校区マップ



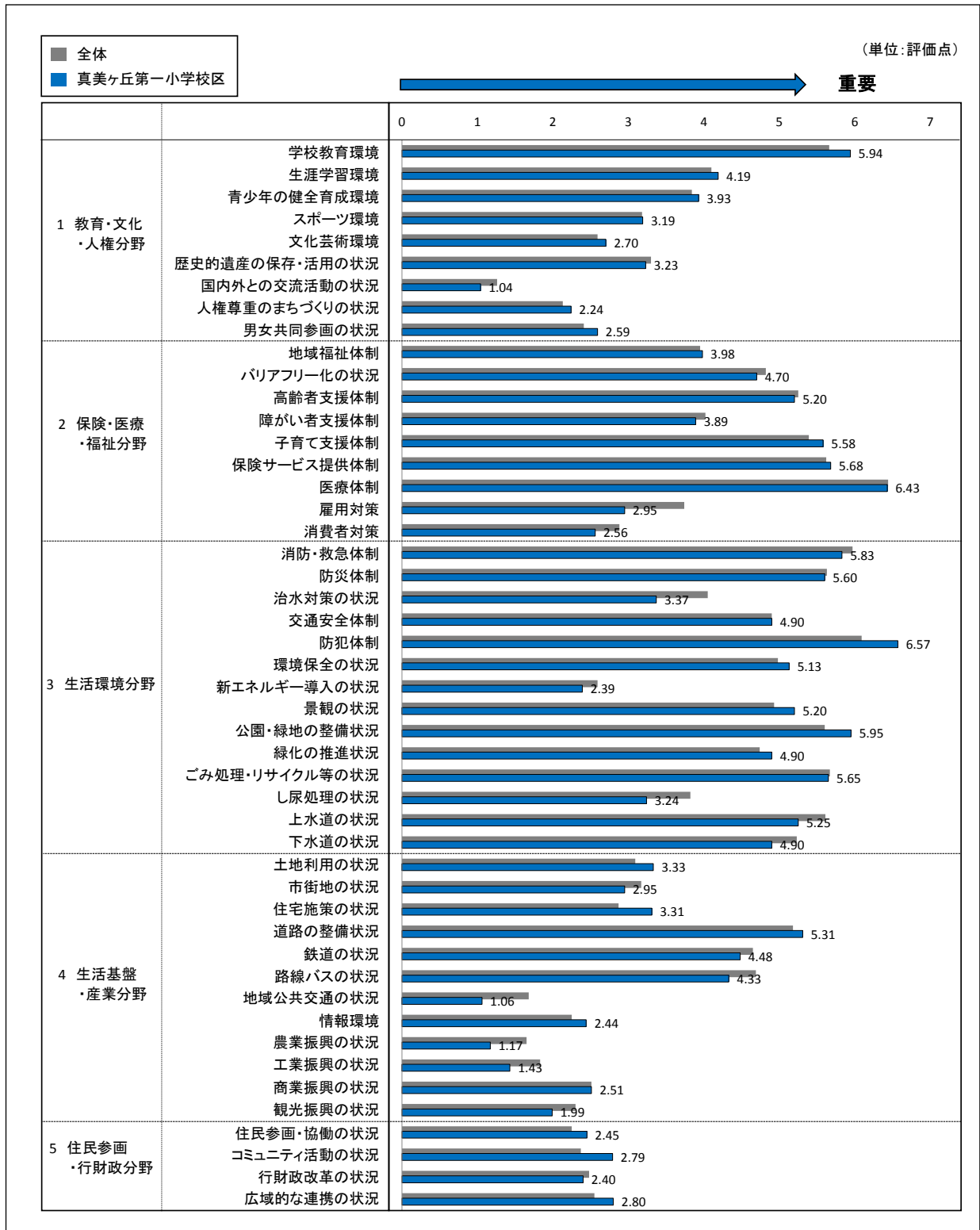
11. 現状に対する「満足度」(平成 27 年 8 月実施のアンケート結果から)



各分野における現状の満足度について、真美ヶ丘第一小学校区の上位3項目は、「公園・緑地の整備状況」が 3.62 点と最も高く、次いで、「下水道の状況」が 3.31 点、「緑化の推進状況」が 3.23 点となっている。

下位3項目は、「路線バスの状況」が-1.08 点と最も低く、次いで、「新エネルギー導入の状況」が-0.85 点、「雇用対策の状況」が-0.75 点となっている。

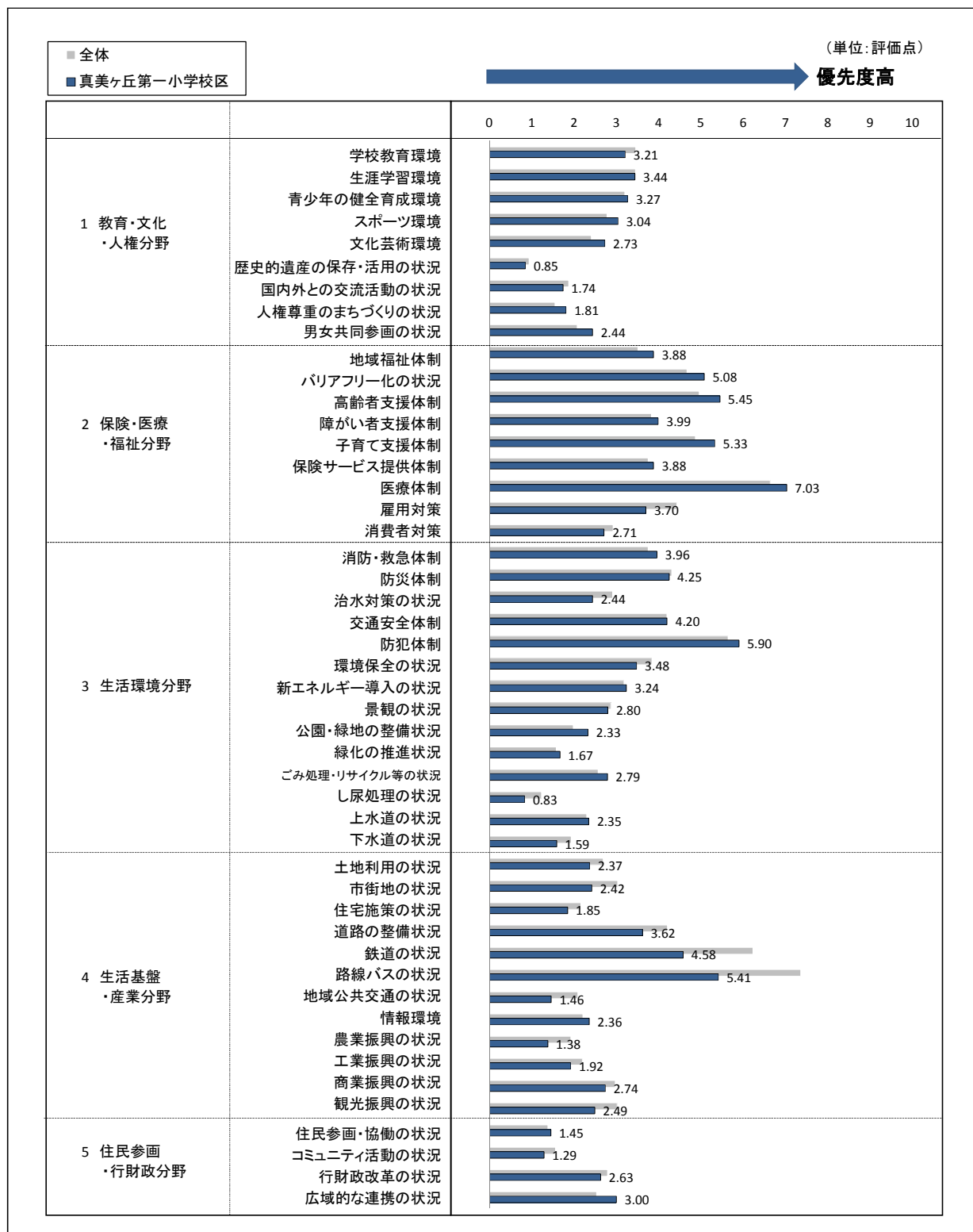
12. 今後の取り組みに対する「重要度」(平成27年8月実施のアンケート結果から)



各分野の今後の取り組みに対する重要度について、真美ヶ丘第一小学校区の上位3項目は、「防犯体制」が6.57点と最も高く、次いで、「医療体制」が6.43点、「公園・緑地の整備状況」が5.95点となっている。

下位3項目は、「国内外との交流活動の状況」が1.04点と最も低く、次いで、「地域公共交通の状況」が1.06点、「農業振興の状況」が1.17点となっている。

13. 「優先度」＜重要度評価－満足度評価＞（平成27年8月実施のアンケート結果から）



優先度について、真美ヶ丘第一小学校区の上位3項目は、「医療体制」が7.03点と最も高く、次いで、「防犯体制」が5.90点、「高齢者支援体制」が5.45点となっている。続いて、「路線バスの状況」が5.41点、「子育て支援体制」が5.33点となっている。

※11. 現状に対する「満足度」、12. 今後の取り組みに対する「重要度」、13. 「優先度」<重要度評価－満足度評価> の評価点については、平成27年8月実施のアンケート調査において、広陵町の各環境について、教育・文化・人権分野、保健・医療・福祉分野、生活環境分野、生活基盤・産業分野、住民参画・行財政分野の5分野48項目を設定し、項目ごとに5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化で評価点（最高点10点、中間点0点、最低点－10点）を算出した。その詳細については下記のとおり。

※加重平均値（満足度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～－10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に－10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

※加重平均値（重要度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

※優先度の算出方法

各項目の重要度（加重平均値）から満足度（加重平均値）を減算して算出する。

$$\text{優先度} = \left[\text{重要度（加重平均値）} \right] - \left[\text{満足度（加重平均値）} \right]$$

14. まちへの愛着度（平成 27 年 8 月実施のアンケート結果から）

■まちへの愛着：広陵町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じているか

上段：人 下段：%	合計	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	どちらともい えない	あまり愛着を 感じていない	愛着を感じて いない	無回答
全体	985	245	479	186	55	14	6
	100.0	24.9	48.6	18.9	5.6	1.4	0.6
広陵東	116	36	52	16	8	1	3
	100.0	31.0	44.8	13.8	6.9	0.9	2.6
広陵西	231	65	108	44	9	5	-
	100.0	28.1	46.8	19.0	3.9	2.2	-
広陵北	141	38	65	25	11	1	1
	100.0	27.0	46.1	17.7	7.8	0.7	0.7
真美ヶ丘第一	208	43	102	45	15	3	-
	100.0	20.7	49.0	21.6	7.2	1.4	-
真美ヶ丘第二	286	62	151	56	12	4	1
	100.0	21.7	52.8	19.6	4.2	1.4	0.3

真美ヶ丘第一小学校区の定住意向は、「とても愛着を感じている」、「どちらかという
と愛着を感じている」が合計 69.7%となっており、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の
合計 8.6%を大きく上回っている。

15. 定住意向（平成 27 年 8 月実施のアンケート結果から）

■定住意向：これからも広陵町に住みたいか

上段：人 下段：%	合計	住みたい	どちらかとい えば住みたい	どちらともい えない	どちらかとい えば住みた くない	住みた くない (できれば引 越したい)	無回答
全体	985	428	307	178	54	14	4
	100.0	43.5	31.2	18.1	5.5	1.4	0.4
広陵東	116	53	31	17	10	4	1
	100.0	45.7	26.7	14.7	8.6	3.4	0.9
広陵西	231	108	57	50	13	2	1
	100.0	46.8	24.7	21.6	5.6	0.9	0.4
広陵北	141	62	37	25	15	2	-
	100.0	44.0	26.2	17.7	10.6	1.4	-
真美ヶ丘第一	208	88	72	38	7	2	1
	100.0	42.3	34.6	18.3	3.4	1.0	0.5
真美ヶ丘第二	286	115	110	48	9	4	-
	100.0	40.2	38.5	16.8	3.1	1.4	-

真美ヶ丘第一小学校区の定住意向は、「住みたい」、「どちらかとい
えば住みたい」が合計 76.9%となっており、「どちらかとい
えば住みた
くない」、「住みた
くない（できれば引
越したい）」の合計
4.3%を大きく上回っている。

16. まちの魅力（平成 27 年 8 月実施のアンケート結果から）

■広陵町の魅力（上位 5 位）：広陵町はどのようなところが魅力か

	全体	真美ヶ丘第一
第 1 位	自然環境が豊かである	自然環境が豊かである
第 2 位	買物の便がよい	買物の便がよい
第 3 位	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	道路・交通の便がよい
第 4 位	歴史的遺産が多い	歴史的遺産が多い
第 5 位	道路・交通の便がよい	子育て・教育環境が整っている

17. 住民参加のまちづくりについて（各自治会の役員などへのヒアリング結果から）

① 地域の防犯活動（子どもの見守り活動、地域パトロールなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会で班員が輪番で立哨 ○「一軒一灯運動」を実施
馬見南2丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが下校する時間帯（午後2時から4時）を中心に地域を巡回 ○交通安全も兼ねて、交通対策委員が地域を巡回 ○PTA活動としてPTA役員が2人1組の当番制で校区内を巡回
馬見南3丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○回覧板などで募集したボランティア（約40名）が登下校時の立哨、地域内パトロールを実施（毎日） ○子ども110番の新規勧誘・旗の交換（現在21軒が協力） ○青色防犯灯の設置 ○各自治会員の家に防犯ステッカー、一声挨拶ステッカーの掲示（現在約400軒が協力）
馬見南4丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会防犯防災部による区域巡回（年1回） ○回覧文書による防犯意識の啓発 ○小学生以下を対象に、交通安全等をテーマにしたポスターを募集し、区域内で掲示 ○ボランティアによる登校時の立哨、下校時間に合わせた清掃を兼ねた区域巡回
馬見南5丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○地域パトロール（PTAと民生委員）、子どもの見守りパトロール、年末パトロールを実施 ○交通安全推進日には、老人会、PTA、自治会でもパトロールを実施 ○交通安全立哨地域サロン活動団体が「子ども見守り隊」を結成し、登校時見守りを実施（毎日）
みささぎ台	○地域の防犯活動は、PTAやボランティア、地域の婦人会・老人会がそれぞれ実施

■活動の実施に対する考え方	
中心に取り組むべき団体	中心に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> ■自治会 5 ■行政 0 ■NPOなど 0 ■その他 1 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○地域に密着した活動内容であるため ○下校時や毎日のパトロールを実施するとなると、人材不足であり、各種団体や自治会との協働が必要だと思う ○地域全体で取り組む必要があるため <p>「その他」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○記載なし
<p>協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ある 6 ■ない 0 	
<p>協働すべき団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自治会 1 ■行政 6 ■NPOなど 2 ■その他 3 	

地域の防犯活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「その他」となっている。「その他」では、「学校」があげられている。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「その他」、「NPOなど」、「自治会」の順となっている。「その他」では、「警察」や「他の自治会」があげられている。

■自由意見

○小学校区の各地域が自己判断で活動している傾向がある。そこで、各地域の自治会長が集まって、防犯活動について話し合いができる場を設けたいと考えており、各自治会長に話を持ちかけている。

○過去に公園に不審者が出入りしているという事案があった。夕方の時間帯だけでも、警察や役場の交通指導員がパトロールしてくれるだけで安心する。

○自治会は住民に一番密接しており、ある程度の情報を持っている。したがって、細かい事柄については中心となるのは自治会であってもいいと思うが、当然のこととして財政的、人的な支援が必要になってくる。

○警察のOBなどが参加するNPOなどに協力して欲しい。

○防災倉庫の発電機が盗まれたことがある。定期的に警察のパトロールをお願いしたい。

○自治会活動というより、住民が普段の生活を送る中で 見守り活動もすれば良い。

○登校時は、目が届くが下校時の見守りが課題。



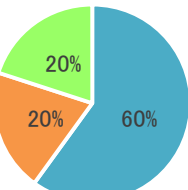
○以前、年末夜回りをしていて、家前でゴソゴソしている人を見かけた時、「何見てるねん!!」とすごまれたそうです。パトロールなどは制服姿の人の方がよいのではないかと思います。子どもと顔見知りになる事が見守りの第一歩だと思います。自治会のイベントなどを通してそれを図ろうと思います。

○行政と区、自治会がコミットしての防犯活動が望ましい。

○少しでも多くの方がたずさわった方が良いが、行政としても定期公園等の見回り確認をしてほしい。地域全体で事故、事件がないよう見守る。

② 地域の防災活動（消防訓練、防災組織の設置など）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南 1 丁目	○災害時には、声の掛け合いを実施（両隣の家の人など） ○防災組織を設置
馬見南 2 丁目	○地域でイベントなどの際に、自治会長が災害に対する知識や意識啓発を実施 ○校区内の自主防災役員による会合を実施
馬見南 3 丁目	○地域防災訓練（避難、消火、AED 操作、保存食調理、子ども防災紙芝居など）を実施（年 1 回） ○防災用品の確保（備品、保存食等）及び斡旋（火災報知器、ヘルメット、保存水等）
馬見南 4 丁目	○自主防災会を設け、防災用品の備蓄や災害時の援護希望者及び支援者の募集 ○自治会を 6 地区に分け、各地区で消火栓の利用方法、水消火器を使用した消火訓練などを実施
馬見南 5 丁目	○自主防災会（自治会とは独立）による防火活動についての会合（月 1 回） ○自治会の幹事は、任期中は全て自主防災会の会員として活動することとしている ○自治会員による初期消火訓練（年 1～3 回）及び消防署の指導の下での消火訓練（年 1 回）の実施
みささぎ台	○地域の防災活動は、自治会の自主防災会により実施

■活動の実施に対する考え方	
中心적으로取り組むべき団体	中心적으로取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 6 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○「地域の」という問いであれば、自治会が行うのは当たり前である ○いくつかの被災地の取り組みを見ていると、初動が一番大切であり、それができるのは自治会である ○防災活動は、自治会に加入していない人も対象としており、自治会とだけ協働すれば良いものではないが、活動に要する経費は、自治会から補助金としてもらう必要がある ○地域の防災意識が重要であるため
<p>協働の必要性</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 6 ■ ない 0 	
<p>協働すべき団体</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 0 ■ 行政 6 ■ NPOなど 2 ■ その他 2 	

地域の防災活動に関して、中心적으로取り組むべき団体はすべての地域が「自治会」を選んでいる。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。



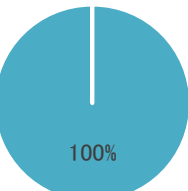
協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「NPOなど」、「その他」が同数となっている。「その他」では、「香芝市の自治会」や「他の自治会」があげられている。

■自由意見

- 災害が起こったときに、ライフライン(水道等)の知識が重要になってくると思うので、資料を役場で作り、渡してほしい。
(水道管の配置等、災害が起こったときの対処方法等)
- 地震が起こった際に、給水タンクが破損して、水が流れ出すのではないかと心配する声をよく聞く。
- 真美ヶ丘地域は、災害といっても他人事になりがちである。災害が起こるとしたら、水害ではなく地震が心配。いざ起こった時にどのように行動すればよいか知っておかないといけない。そのためには、行政と地域が連携し防災訓練を実施し、情報発信、情報収集が必要。
- 小学校区で訓練は行っているが、実際に災害が起こった時を想定するならば、香芝市とも一緒にできればいいと思う。
- 小学校区の訓練では避難場所の確保等の話は進んでいるが、その前に避難ができなければ意味がない。まず避難方法や経路について考えるべきである。
- 情報の管理が難しいため、自治会で障害や介護等の情報を持つべきではない。災害時に動く必要があるのは自治会だと考えているので、個人情報の管理は町でしてほしい。必要な時に町から情報が流れるような仕組み作りが必要。
- 危機管理課で防災関係は集約すべきでは？避難困難者の把握なども一括管理すべき。
- 備えあれば憂いなしを実践するためには、水や食料品の備蓄や防災用品の整備が必要になるが、現在の自主防災に係る町の補助制度をみると使途の制限等があり、それがネックになって思うような取り組みができない。もう少し柔軟な対応を希望する。
- 災害時などに要援護者の安否確認のため地域の住民台帳を作成し、年1回情報を更新している。
- 避難所が限られていて、避難者があふれてしまう。(避難所が少なく集会所が小さい)
- 町民のための備えも充分ではないのに、行政側からばかり自治会に色々な負担を強いるのはやめて欲しい。派手な訓練も結構だが、目に見える行事をアピールするだけでなく、もっと地道な備えを進めて欲しい。
- 活動種類や課題の提案をして欲しいが、住民では知識が少ないので、行政からの知識提供が欲しい。
- 防災無線放送が聞き取りにくい。
- 自治会単位では地域格差がでてしまう。まず行政がなにかしら指針を。
- 自治会入会者だけでなく、住民全員でやるべき。

③ 地域の清掃や美化活動（クリーンキャンペーン、つゆはりなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南 1 丁目	○クリーンキャンペーンの実施(年 2 回) ○公園における花植えなどの美化活動の実施
馬見南 2 丁目	○クリーンキャンペーンにおいて、清掃や美化活動の実施 ○地域の婦人部や老人会による美化活動の実施
馬見南 3 丁目	○自治会で一斉清掃を実施(年 4 回) ○集会所や公園周辺は自治会幹事が中心となり清掃を実施
馬見南 4 丁目	○町内美化活動(自宅周辺及び公園など)及び花いっぱい活動の実施(年 2 回) ○自治会からの外部委託による公園樹木の剪定及び有志による公園の除草等の実施 ○ボランティアによる登校時の立哨、下校時間に合わせた清掃を兼ねた区域巡回
馬見南 5 丁目	○町主催のクリーンキャンペーン及び自治会主催による地域内で一斉清掃の実施(年 2 回) ○集会所周辺は自治会が担当を決めて清掃を実施
みささぎ台	○自治会活動による地域一斉清掃を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 6 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○「地域の」という問いであれば、自治会が行うのは当たり前である ○地域内道路や生活に面する道路については、自治会や各自が清掃するべきであるので実施しているが、周辺道路については、行政にて実施されるものと思われる ○年 2 回のクリーンキャンペーンを利用して、行政と協働して美化していくのがよい ○地域全体で取り組む必要があるため
協働の必要性	
 <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 6 ■ ない 0 	
協働すべき団体	
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 0 ■ 行政 6 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	

地域の清掃や美化活動に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域が「自治会」を選んでいる。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、すべての地域が「行政」を選んでいる。

■自由意見

- 最近になり、カラスが電柱などに多く見られる。
- 町主催のクリーンキャンペーンに参加するのは問題ないが、できれば日時を指定しないで地域の予定に合わせるなど融通を利かせてほしい。
- 一斉清掃の直前後でシルバーの清掃が入るようになっている。あまり意味がない。自治会での一斉清掃の日程は町が把握していると思うので、シルバーに日程をかぶらないように来てもらいたい。
- 溝の清掃は住民で行っているが、特に公園の溝は落ち葉が多く自治会で行うのは大変である。
- 町のゴミ袋にはマチがなく使用勝手が悪い。無料で配っている市町村もある。分別が不要な市町村もある。
- 自治会では分別を細かく行っているのにも関わらず、クリーンセンターに行くと分別を厳しくしていないようである。矛盾しているのではないか。
- 官主導の取り組みについては、自己都合での一方的な実施ではなく、自治会の意見を反映するなどの柔軟な対応をされたい。
- 町道の排水溝の掃除は、行政でしてほしい。費用の問題があるなら増税すればいい。
- 行政と協働して実施するクリーンキャンペーンは、必要性が理解できない。参加者が限られる。
- クリーンキャンペーンの際の具体的な清掃内容を提示して欲しい。
- 町にすでに申請している道路の亀裂の件について、返事がないがどうなっているのか。
- 大がかりな草刈り等は行政にお願いしたい。
- 街路樹など多すぎ、汚い。手入れが不十分。その為車の死角ができ、防犯にも悪影響、ゴミも多い。
- 自治会の一斉清掃で集められたゴミが、年々減っている様に思います。これは地域がきれいになったからではなく、参加が減ったからだだと思います。
- 清掃や美化活動取組にあたり、資金面を行政がバックアップ。
- 地域の清掃や美化は、地域全体で取り組むものであり、住民全員参加であるなら団体の名前を出す必要もないと思う。
- 行政として、どんな援助ができるか示してほしい。
- クリーンキャンペーン等は、地域住民も大事だが学生等の参加(スポーツ少年団等)も積極的であっても良いのではないかと思います。

④ 公園や集会所などの維持管理に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南 1 丁目	○公園における花植えなどの美化活動の実施 ○クリーンキャンペーンにおいて公園清掃を実施(年 2 回)
馬見南 2 丁目	○公園の清掃及び集会所の清掃、維持管理を実施 ○公園の維持管理は自治会では未実施
馬見南 3 丁目	○集会所の清掃や電球交換などを実施 ○公園の遊具などは町が修理
馬見南 4 丁目	○町内美化運動時に公園や集会所などの清掃活動を実施 ○自治会からの外部委託による公園樹木の剪定及び有志による公園の除草等の実施
馬見南 5 丁目	○公園や集会所は、自治会において幹事が交替で担当し、計画的に維持管理を実施
みささぎ台	○公園は草刈りを実施(年数回) ○集会所は自治会による清掃を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 6 ■ 行政 1 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○維持管理などについて、行政や自治会との役割整理が必要 ○運営管理は自治会、建物管理は町が管理すべき(町が大家で自治会が店子のようなイメージのため) ○集会所については、地域に密着した活動であり、自治会が中心になると思うが、公園については安全面などの理由から行政が行うべきと考える ○管理に必要な作業も規模が大きくなると、経費も大きくなるし、行政からのバックアップが必要となる <p>「自治会」、「行政」を複数選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集会所の清掃は基本的には自治会で行えるが、公園に関しては手に負えない現状があるため
<p>協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 6 ■ ない 0 	
<p>協働すべき団体 (複数回答可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 1 ■ 行政 6 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	

地域の清掃や美化活動に関して、地域の防犯活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。(1 地域で複数回答あり)

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

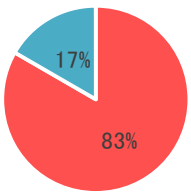

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」となっている。

■自由意見

- 公園の修繕等について、依頼すれば動いてはもらえるが、しなければ動かない。子どもたちのけが等に直に繋がるので、依頼せずとも動いてもらいたい。町に依頼しないと動いてもらえないのであれば、どんどん依頼していかざるを得ないが、町はそれでいいのか？
- セアカゴケグモが公園にでる。現在セアカゴケグモによる被害は出ていないが、被害が出る前に対応してほしい。
- 公園があまり使われていないので、何か活用できる方法を考えたい。
- 役場はすぐ民間に委託する。委託業者に委託費用を支払うのであれば、地域に管理させて地域に委託費用を支払うという形にする方がよいと思う。
- 集会所や公園を改善しようと考えた時に、役場の様々な課が関わっており、どこに相談したら良いか分からない。窓口の統一化を図るためにプロジェクトチームを結成してほしい。
- 官主導の取り組みについては、自己都合での一方的な実施ではなく、自治会の意見を反映するなどの柔軟な対応をされたい。
- 公園は行政が維持管理するべきである。自治会が絡むと、他の地区の公園で休憩できなくなる。
- 集会所の畳の入れ替えと蛍光灯のLED、空調の取り替えは行政でもらえるのか。補助金が出るのか。
- 公園の夏の草刈りは負担が大きすぎる。実施するのは役員だが、熱中症の恐れもあり来年度は1回のみ外注にしようと考えているものの承認してもらえないか不安。当区の公園は利用者も少なく、何の為に死にそうになって作業しているかわからない。
- 集会所の耐震性があるのが不安。調査をして欲しい。
- 集会所は地元だが、公園の管理は行政が行うべき。
- 集会所が一部の人の為の施設となっており、オープンにみんなが集える場所にはなっていない。
- 自分達が使う公園、集会所なので基本的には自治会がする事だと思っています。安全性、資金面など、自治会には手に負えない所は、行政にカバーしてもらえるとうれしいです。
- 集会所は自治会が主に使用しているので自治会が協力すべきと思うが、公園は遊具の管理は自治体が責任を持ち、草刈りは、地域清掃の時と年1、2回は自治会が行い、その他、草刈りが必要な時は行政が外注してはどうか。
- 行政の役割の現状が見えてこない。
- 集会所は、ある程度自治会での管理でいけるが、備品等は、必要に応じて行政の金銭面での支給も必要。公園維持は、行政にも入ってほしい。

⑤ 高齢者などを対象とした福祉活動（見守り・声掛け活動、サロン活動等の集いの場の提供など）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南 1 丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○老人会はない ○年齢制限のないサークル活動（フォークダンスなど）を実施 ○独居世帯に対して、民生委員と連携し、声かけなどの様子伺いを実施
馬見南 2 丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○集会所で地域の男性住民による、「男の料理」と題した食事を通して交流を実施（月 1 回） ○集会所で地域の女性住民による、「健康麻雀」を実施（定期的） ○西谷公園において、ラジオ体操を実施（毎朝）
馬見南 3 丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○老人会（会員は 60 歳以上の任意）は希望者が毎月 1 回、老人会連合が開くさわやかホールでの懇親会に参加 ○サロン活動として、誰でも参加可能「さんさんカフェ」を実施（毎月第 3 日曜） ○年齢制限はない囲碁、麻雀、カラオケ、歩こう会などの活動に自治会からの補助金を拠出
馬見南 4 丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災会による災害時の援護希望者の募集と把握及び支援者の募集（ふれあいマップの作成） ○「人生を楽しむ集い」の開催 ○「ふれあい」による茶話会の開催や軽度のハイキングの実施 ○プロジェクターを利用した映画鑑賞会、KEEP、その他サークル活動の実施
馬見南 5 丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員が 65 歳以上を対象とした世帯調査を行い、見守りが必要な方への支援を地域福祉委員とともに実施 ○老人会で健康麻雀、パークゴルフ、旅行を実施 ○サロン活動として、民生委員がボランティアスタッフとともに「ふれあい喫茶」を実施（定期的） ○「ふれあい喫茶」では、高齢者対象の健康維持活動も実施
みささぎ台	○高齢者などを対象とした福祉活動は、婦人会や老人会、民生委員の活動により実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 5 ■ 行政 1 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○設問の内容から地域中心でないと難しい内容であるため ○互助の精神が必要な部分であり、住民に一番近いところにいる自治会が実施するのが適切
<p>協働の必要性</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 6 ■ ない 0 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化が急速に進む中で、活動の幅が広くなり民生委員だけでは見守りきれない状況になっていくと思われる <p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身体能力、生活状況も異なることや専門性も必要であると考えられるため

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 自治会 1 ■ 行政 5 ■ NPOなど 2 ■ その他 1 </p>	

高齢者などを対象とした福祉活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「NPOなど」、そして「自治会」、「その他」が同数となっている。「その他」では、「民生委員」があげられている。

■自由意見

○地域サロンなど、集いの場を提供していただけるのはありがたいが、利用しづらい。人付き合いなどが得意な人は利用しやすいと思うが、そうでない人からすると行きにくい。また、そこまで行くのに家族が送り迎えをする必要もある。

○まちづくり協議会を設立し、救護者の実態など情報共有していきたい。

○老人会への加入は希望制にしているが、60歳以上になったら強制参加しないといけない自治会もあるようである。老人対策の組織として活動していくべきなのか、方向性を迷っており、そうするならば町と協働していくべきと考えている。

○これからは憩いの場所だけでなく、健康面、介護予防等に目を向ける必要がある。

○住民には、人に迷惑をかけたくない、あるいは家庭内に踏み込まれるのを敬遠するという意識があり、一方で個人情報等の問題から自治会の活動にも限界もあって、どのようなニーズがあるのかが把握できないというのが現状である。

○民生委員が自治会の役員や自主防災会の会員となって、見守りや安否確認に必要な個人情報を扱っている。情報の保護のためには、守秘義務を負う民生委員が今後も組織の中に入っている必要がある。

○疾病がある方に対して、緊急情報医療キットを配布する予定である。

○町がSOS(徘徊)ネットワークを構築しているが、町内の事業所やコンビニに限る。隣接する市町村や広域的にネットワークを構築すべきである。このような情報は対象となる方だけでなく広く情報提供した方が良い。

○現状が把握できていない。様々な活動に出てくる人は決まっている。

○情報がないのでわからない。活動に対する相談窓口などが不明確。

○近所で高齢者として扱うのは難しいと思う。

○どの様なNPOが活動しているかわからない。

○場の提供というところでは自治会館等々できるが、声かけ見守り等に関しては、行政の積極的な活動計画が不可欠。

⑥ 地域での子どもを対象とした活動(子ども同士や地域住民との交流の場・学習の場の提供など)に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南 1 丁目	○子ども会はないが、自治会においてお祭りを実施 ○サークル活動(英会話、将棋など)を実施
馬見南 2 丁目	○親睦会(BBQ と花火)、防災キャンプ、とんどの実施 ○子ども会において、レクレーション(ボーリング大会など)を実施(年 2、3 回)
馬見南 3 丁目	○子ども会(加入率ほぼ 96%)において、春夏秋に遠足、冬にクリスマス会を実施 ○子ども会の活動資金はリサイクルゴミ収集で確保 ○夏祭りで子ども会主催の出し物(当て物等)を実施
馬見南 4 丁目	○子ども秋祭り、クリスマス子ども会を実施 ○有志の協力による夏休み子ども琴教室の実施 ○小学生以下を対象に、交通安全等をテーマにしたポスターを募集し、区域内で掲示
馬見南 5 丁目	○何とか子ども会の活動は続いているが、子ども会の役員になりたくないなどの理由から未加入者多数 ○夏祭りの実施やチャレンジデーの参加など、子どもが楽しめる地域イベントについては自治会が実施
みささぎ台	○自治会において、夏祭りや子どもを対象としたイベントを実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 5 ■ 行政 1 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○「地域の」という問いであれば、自治会が行うのは当たり前である ○地域全体で子育てをするという精神が必要と考える ○子ども会だけではイベントの企画運営は難しく、自治会の行事として全面的にバックアップしないと、子ども会活動は消滅してしまう <p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの参加も少ないので、保護者のニーズが高まるのを待つことも必要である
<p>協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 1 	
<p>協働すべき団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 1 ■ 行政 4 ■ NPOなど 1 ■ その他 1 	

地域での子どもを対象とした活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性は「ある」が多く、83%が選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」、「NPOなど」、「その他」が同数となっている。「その他」では、「学童」が上げられている。

■自由意見

○子ども会はないが、お祭りなど自治会が主導して開催している。

○夜のパトロールを実施してほしい。朝昼ともにパトロールをし、安心だが、夜(子どもの塾帰りの時間帯)が心配。

○子どもの集まる場を作るという観点から、集会所においてプロジェクターを使用したアニメや映画の上映会を行っても良いと思う。そのために、アニメや映画のDVDの貸出を行ってほしい。

○学童システムについて、共働き世帯が増える中、18:30までに迎えに行かないといけないのは厳しい。クレヨンハウスというものもあるようだが、周知されていない。家族の代わりに迎えに行ったりしてもらえるようなシステムも作ってほしい(自治会やシルバーに頼めるような人はいないか)。大阪ではそういった仕組みが既に存在する。

○図書館については、子どもたちがすぐにいける距離でない。定期的に集会所に図書を置くなどの対策はできないか。

○町民体育祭については、走れる若い人たちが参加しない。子どもたちに関しては、学校の運動会やクラブ活動と重なっているので参加できないようになっている。体育の日からずらしたら参加者が増えるのではないか。

○学習の場や下校後の集まりの場などを集会所で作れたら良いと考えているが、集会所が狭く利用できない。せめて、もう一室あればと思う。

○子ども会の活動費はあるが、世話人がいない。

○無理に皆が集まって活動する必要は無いと思っている。

○役員の手が回らず、子供の参加も少ないため、楽しい企画を提案して欲しい。

○子ども会などは保護者が積極的に行うべきであり、人まかせにする傾向が、最近の親にはある。

○今までのイベント以上に何かに取り組むよりは、「年に一回だけの楽しみ!!」の様な形にした方がよいのではないか。

○子どもを対象とした活動についても資金の援助が欠かせない。

○お祭り、運動会等は、既に自治会が活動、協力しており、これから別の活動を行うのであれば、有志の住民や団体などが活動しても良いと思う。

○親も一緒に参加してくれないと、ケガなど責任が持てない。

⑦ まちづくりの方向性に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見南 1 丁目	意見なし
馬見南 2 丁目	○行政のまちづくりの方向性や何をしたいか分からない
馬見南 3 丁目	○町の指示があって成り立つ部分と、自治会だけでやる部分とがある ○旧村と真美ヶ丘の連携がなく、災害時に助け合うことができない
馬見南 4 丁目	○高齢者世帯や独居老人などが増加しており、自治会役員が務まらないという家庭が増えているが、一方で自治会の求められる役割が増えており、自治会活動に参加することによる負担が増加している
馬見南 5 丁目	○昨年度から「地区計画」を策定してもらうよう要望するために「まちづくり委員会」を設置し、地元の要望素案がまとまった段階である
みささぎ台	○若年層の参画もなく、行政の基本的なまちづくりの方向性が迷走気味である

■活動の実施に対する考え方	
中心に取り組むべき団体	中心に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 5 ■ 行政 2 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「自治会」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携が必要 ○他の地域の「地区計画」の過程や状況などの詳しい説明、情報があれば参考にできた ○行政が地域に求める協力内容が不明である <p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治会の役員たちも回答に困っており、会話の内容を斟酌したため ○情報量や財政面など、自治会では限界がある
<p>協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 0 	
<p>協働すべき団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会 2 ■ 行政 3 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	

まちづくりの方向性に関して、中心に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。（1 地域で複数回答あり）

協働の必要性は「ある」が最も多くが選ばれている。（1 地域で回答なし）

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」となっている。

■自由意見

- まちづくり協議会を設立し、救護者の実態など情報共有していきたい。
- 行政が実行しようとしていることに町民を入れて話をしていないのではないかと。話をしていたとしても、聞いているだけで、反映されていないと思う。行政は、「協働」が重要と言うが、常に行政だけで考えており、町民の意見がないと感じられ、協働ではない。
- 行政が考えるまちづくりの方向性を町民に理解してもらえる場や町民の意見を聴取する場が必要ではないか。
- 全ての活動において言えることだが、行政の関わり方が、自治会活動が活発な地域に対するものと、自治会がないあるいは活動が活発でない自治会に対するものと差が出ると不公平である。活発な地域は自治会で、活発でないところは行政でやるというようになってはダメ。
- 「小学校区で一つのコミュニティを作ろう」というのはそもそも地域が違うのに可能なかもしくは意味があるのか？
- 小学校区で防災以外のことを一緒にすることに理解ができない。誰がそれらを束ねるのか。遅れている地域に合わせることもなりかねない。
- 町は自治会同士で協働できるような仕組み作りをしなければならない。
- 区長自治会長会では旧村と真美ヶ丘できっちり分かれて座っており、意見が出るはずもない。
- 地域で地区計画の素案を作成するにあたって、早く進めることが先行し、将来像などの議論が十分できていなかった。
- イベントを盛り上げる、参加を見込める、協力を見込めるイベントをしたいが、手が足りないので協力をお願いしたい。
- 住んでいる人達の意見によって決めて欲しい。
- まちづくりは行政のしごと。既に住宅地である地域において今更まちづくりは必要がない。
- 行政指導のもと、協力できることは参加します。
- どこが中心的に取り組むかではなく、住民と行政が共に同じ方向にむかっていく事が大切なのではないのでしょうか。
- 今後の高齢化を考え、空き家対策など考える必要があると思う。